

前号目次

初期宗教心の統計的研究……………	荒井 貞雄
無と空に就て……………	海辺 忠治
歎異鈔の信仰……………	松永 大覚
織維に就て……………	富田 朋介
服装史より……………	山本登美子
——流行の変遷を裏付けるもの——	
第九交響曲解説（承前）……………	石倉小三郎
シヨパン考……………	佐藤 允彦
枕冊子本文語彙考証……………	田中重太郎

前々号目次

第九交響曲解説……………	石倉小三郎
現代教師像の研究（二）……………	荒井 貞雄
母子叙情小論……………	中野 恵海
文 化……………	富田 朋介
芸能—技術—手芸に大切な手に就て……………	中村 ソノ
合成繊維とその複合品の染色……………	浜崎 弥市

学園だより

第五回文芸講演会（五月十九日）

本学園が親鸞上人の生誕記念行事として、文芸講演会を催すようになってから、早くも第五回目を迎える事になった。本年も現文壇の第一線に活躍し、特異な地位を占める方々に、それぞれの角度から次のような話をしていただいた。

挨拶

今小路 学長

全

井上友一郎氏

作家として

井上 靖氏

フランスの女性

河森 好蔵氏

伝記文学について（昼間）

ユーモアについて

源氏 鶏太氏

小説の話（昼間）

日本の詩歌について

山本 健吉氏

日本の国語問題について（昼間）

井上友一郎氏の講師紹介について、満堂の拍手に迎えられ、井上靖氏が登壇、作家としての立場から自己の作家的信念と、

第五回文芸講演会

芸術のありかたについて、静々として説き及ばれた。理路整然、説き来り説き去るその風格は、誠に重厚な氏の作風を思わせるものがあつた。次は昨年エスプリとユーモアについて講演された河森好蔵氏が、昼間は伝記文学について説き、夜はフランスの女性について、豊富な実例と文芸作品の中からの例証を引用し来つて、氏一流の鋭い文明批評のハイライトを照射し、軽妙にしてユーモアたつぷりの熱弁に聴衆を魅了しつくした感があつた。

河森氏のあとは、これまた新聞や週刊誌にお馴染みの源氏鶏太氏が、ユーモアについて氏の本領を吐露され、聴衆は眼前に活きた氏の作品を彷彿して、全く酔わされて了つた。優しい風貌と堂々たる体軀と、三等重役氏そっくりの体熱から、ぢかにユーモアの噴水を浴びせられた思いである。

山本健吉氏は、精悍秀麗なその風貌に、利かぬ気の強い精気を漂よわしつ、日本の国語問題、日本の詩歌の諸問題について、新鮮にして鋭利な論陣を張り、批判のメスを入れて満堂の喝采を博した。

この間、本学の講師にして、当代女流の第一人者、円地文字女史の含蓄のふかい講演があつて、例年の事ながら盛会裡に有意義な催しを終了した。

(K)

宗教音楽研修会

相愛学園主催、全日本仏教会後援の宗教音楽研修会が八月三日より五日まで三日間相愛講堂で開催された。日程内容は次の通り

第一日 八月三日(水)

礼拝 相愛学園聖歌隊参加

挨拶 相愛学園理事長

講演 一、東洋音楽学会会長

仏教音楽概観

二、芸術院会員

仏教音楽の在り方

報告 学校に於ける礼拝と音楽

一、広島音楽高等学校

二、宣真学園

三、四天王寺学園

四、京都女子学園

聖歌の歌唱指導と実習

第二日 八月四日(木)

講演 一、奈良学芸大学

今小路覚瑞

田辺 尚雄

山田 耕祐

西岡 敏雄

松尾 俊光

滝藤 尊教

上村 けい

林 謙三

日本古代の音楽

二、京都音楽短期大学

大原声明に就て

三、京都女子大学

仏教聖歌の変遷過程と現況に就て

四、高野山大学

南山進流声明に就て

五、大阪雅亮会

雅楽に就て

演奏会

一、独唱と合唱

二、オルガン独奏

三、雅楽

四、六斎

講演

一、東京大学

二世以後の邦楽と仏教音楽

二、東京芸術大学

印度に於ける宗教音楽

三、立教大学

礼拝と音楽 (注) 講師病気のため欠講

片山 義道

伊藤 完夫

中川 善教

小野 摂龍

相愛女子大学音楽学部

伊藤 完夫

大阪雅亮会

京都吉祥院

岸辺 成雄

小泉 文夫

皆川 達夫

礼拝 相愛学園聖歌隊参加

討論会 仏教音楽の課題 (パネル式)

岸辺 成雄

伊藤 完夫

片岡 義道

小泉 文夫

今小路覚瑞

懇親会及びレクレーション

この催しは仏教音楽に関し始めての大きかりな企てとして注目を浴びた。参加者中一般受講者は一五六名であった。その内訳を宗派別、職業別にと次の通り。

真宗	五八 (内本願寺派三七)	本派関係学校	二四
浄土宗	九	私立学校	二一
西山禪林派	五	大学	一四
真言宗	一〇	公立高校	二
天台宗	四	公立中学校	六
禅宗	六	幼稚園	一一
法華宗	四	僧侶	三九
日蓮宗	六	商業	三
融通念仏宗	二	学生	六
神道	一	不詳	二九

キリスト教 六

不詳 四八

計 一五六

計 一五六

(N)

公開講座

第六回公開講座

六月二十日(月)午後四時より本学講堂において

「日本歌曲の歌唱について」

講師 山田耕筰学部長

山田真梨子教授

(M)

学内演奏会 (第六回)

六月二十一日 午後四時より本学講堂において

1 シューマン「ウイーンの謝肉祭」 岡田 敦子

2 中田喜直「真昼の乙女たち」 井上 秀子

ブツチーニ「リュウの死」 伴奏 田中靖子
(「トウランドット」より)

3 イベール「物語」より 北地 礼子

金の龜を使う女
小さい白い子馬

公開講座 学内演奏会

- 4 メンデルスゾーン「ヴァイオリン コンチェルト ホ短調」
(二、三楽章) 古武 順子 伴奏 田中靖子
- 5 ショパン「スケルツォ OP. 31」 小林田鶴子
- 6 リスト「プレリュードとワーグアイ短調」
辰巳夫佐子
- 7 シューベルト「春の信仰」 中村美和子 伴奏 大谷時子
「ひめぐと」
- 8 リスト「超絶技巧用エチュード」九番 冨永 洵子
- 9 グノー「ジューベルのアリア」 西野由喜子 伴奏 田中靖子
（「ファウスト」より）
- 10 メンデルスゾーン「ピアノ コンチェルト ト短調」
三浦 克子

第二ピアノ

松岡 貞子教授
(M)

相愛学園図書館読書会 (第二十回)

去る八月十日、第二十回読書会は午前十一時から、於摩耶山
上天王寺王蔵院

当日空模様があやしく、小雨がばらついていたにもかかわらず、荒井教授・二十二教授、高・中の中野教諭・川喜多教諭をはじめ、図書館員・国文科一、二年在學生・高校生・卒業生な

ど合せて二十四名が集り、岩波新書「続私の信条」から長与善郎・山川菊栄・鈴木大拙の三名を選び熱心に討論を交した。飛入りの田中教授夫人の手記、「私の信条（理想の妻の座・母の座）」は話題の中心になつて花がさいた。

昼食には特製の精進料理をいただき、食後は座談に入つた。非常に静かなそして涼しい所で、来年の夏休みにはぜひこの場所で一泊して会をもつと言うことで、午後四時三〇分頃解散した。

図書館棚だより (近着書) (I)

一般教養

- 玉川大学出版部編 玉川百科大辞典 (昭三五)
- 下中 邦彦 編 世界名著大事典 (昭三五)
- 佐々木俊次 ロンヤ思想史 (昭三五)
- 真宗典籍刊行会編 真宗大系 (昭一一)
- 岡村 周薩 真宗大辞典 (昭一〇)
- 西村 孝次 他 現代伝記全集 (昭三五)
- F・パツヘンハイム 近代人の疎外 (昭三五)
- 栗田 賢三 訳 世界考古学大系 (昭三四)
- 下中弥三郎 編 The Three R's Pluns, 1956 (昭二八)
- R. H. Beck 体系教育学大辞典 (昭二八)
- 豊沢 豊 他

阪本 一郎 他 体系心理学辞典 (昭三三)
 大脇 義一 心理学 (昭三五)
 生活科学調査会 成人の生理と心理 (昭三五)
 F. J. Mcdonold Educational Psychology (1959)
 中 脩二 脳髓の機能と教育 (昭三四)
 小原 国芳 小原国芳全集 (昭三四)
 長田 新訳 ペスタロッチー全集 (昭三五)
 海俊 宗臣 編 臨時教育会議の研究 (昭三五)
 青木 章心 他編 視聴覚教育事典 (昭三四)

音楽関係

南 博 日本の芸術 (昭三三)
 安田 章生 日本の芸術論 (昭三四)
 折口 信夫 日本芸能史ノート (昭三三)
 岩橋小弥太 日本芸能史 (昭三三)
 郡司 正勝 郷土芸能 (昭三三)
 三隅 治雄 郷土芸能 (昭三三)
 喜多村信節 嬉遊笑覧 (昭三三)
 本庄 安治 他 民俗芸能 (昭二九)
 池田弥三郎 芸能 (昭三三)
 河幡 実英 舞楽図説 (昭三二)

能勢 朝次 能楽源流考 (昭三一)
 横道万里雄 能と狂言 (昭三四)
 野上豊一郎 能楽全書 (昭三四)
 三宅 杭一 節の精解 (昭三五)
 川尻 清潭 演技の伝承 (昭三一)
 西山松之助 家元の研究 (昭三四)
 渥美清太郎 邦楽舞踊辞典 (昭三一)
 吉川 英士 邦楽鑑賞入門 (昭三四)
 鈴木 智弁 南山進流声明集 (昭三二)
 岸辺 成雄 唐代音楽の歴史的研究 (昭三五)
 J. S. Bach Konzert für 2 Violinen
 Bizet Carmen (Complete)
 Verdi Rigoletto (Complete)
 山辺 知行 日本美術大系 (昭三五)
 坂本 万七 他 薬師寺 (昭三五)
 角川書店編集部編 日本絵巻物全集 (昭三五)

国文学関係

久曾神 昇 古今和歌集成立論 (昭三五)
 石田 貞吉 新古今和歌集 (昭三五)
 山岸 徳平 八代集全註 (昭三五)
 安藤 秀方編 近世俳句索引 (昭三四)

- | | | | | | |
|-------------------|-------------|-------|--------------------|------------|-------|
| 池田 龜鑑 編 | 源氏物語事典 | (昭三五) | 宮地 政司 他 | 現代の自然観 | (昭三五) |
| 土岐 武治 | 旧註集成 埤中納言物語 | (昭三三) | 天羽 幹夫 | 食用微生物概論 | (昭三三) |
| 久松 潜一 | 日本文学史総説年表 | (昭三五) | 朝井 勇宣 | 食品微生物学 | (昭三五) |
| 西下 経一 他 | 国語国文学研究史大成 | (昭三五) | 桜井 芳人 他 | 食品の加工と貯蔵 | (昭三五) |
| 長島豊太郎 | 古字書綜合索引 | (昭三三) | 正木富美子 | 増補離乳食と与え方 | (昭三五) |
| 郡司 正勝 | かぶきの発見 | (昭三四) | 吉村 義人 訳 | 蛋白必要量 | (昭三三) |
| 河竹 繁俊 | 日本演劇全史 | (昭三四) | 岩田 昌一 | 改訂栄養病理 | (昭三四) |
| 伊原 敏郎 | 歌舞伎年表 | (昭三五) | 全国立病院
給食研究会編 | 病院給食献立 | (昭三五) |
| 群書類従完成会 | 群書類題 | (昭三五) | 茂木 専枝 | 新学校給食献立要覧 | (昭三五) |
| 未刊国文資料刊行会 | 未刊国文資料 | (昭三五) | 国立栄養研究所
国民栄養振興会 | 改訂増補問答栄養宝典 | (昭三一) |
| 昭和女子大学
近代文学研究室 | 近代文学研究叢書 | (昭三五) | 大石 敏雄 | 食品のアミノ酸含量表 | (昭三五) |
- 家政学関係**
- | | | | | | |
|------------|--------|-------|----------|-----------|-------|
| 岡田 要 他編 | 図説科学大系 | (昭三五) | 日本薬学会編 | 縮冊衛生試験法註解 | (昭三五) |
| 化学大辞典編集委員会 | 化学大辞典 | (昭三五) | A・レンベル 他 | 生命のリズム | (昭三五) |
| 高木 誠司 | 定性分析化学 | (昭三四) | 松岡 芳隆 訳 | 寿命 | (昭三五) |
| | 日本化学総覧 | | 大塚 幸男 訳 | 以上(一) | |
-
- | | | | | | |
|---------|------------|-------|--|--|--|
| 緒方 章 | 無機化学ハンドブック | (昭三四) | | | |
| 朝永振一郎 編 | 化学実験操作法 | (昭三五) | | | |
| 岡田 要 他 | 宇宙線の話 | (昭三五) | | | |
| | 原色動無図鑑 | (昭三五) | | | |
-
- 田中重太郎教授 二月二十七日、枕冊子本文の研究にて文学博士の称号を受く。
- 東儀祐二助教授 ヴァイオリン リサイタル 三月二日 於 福岡電気ホール

○山田耕筰学部長 作曲・指揮オペラ「黒船」上演

三月十五日—十七日 於アサヒフェスティバルホール

○徳末悦子教授 ピアノリサイタル 六月二日 於毎日ホール。

○その後、諸先生の研究発表次の如し。

松永 大覚教授 歎異鈔のいただき方 (一月) 関書院

荒井 貞雄教授 教育実習手帳(改訂)(四月) 藤原 K

岡 邦俊教授 生きる宗教(講話)(十月) 百華苑

田中重太郎教授 枕冊子本文の研究 (十一月) 初音書房

昭和三十四年度卒業演奏会

入りの部

昭和三十五年二月五日 午後一時半より本学講堂において

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 6.

Schumann : Fantasiestücke Nr. 3. & 8.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 16.

Ibert : Histoires No. 1, 4 & 9.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 13.

Chopin : Fantasia op. 49.

消息 昭和三十四年度卒業演奏会

Bach : Invention a 3 Voci Nr. 16.

Schubert : Sonate op. 120 1ste Satz.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier II. Nr. 12.

Brahms : Scherzo

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 17.

Debussy : Children's Corner. No. 1, 5, & 6.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier II. Nr. 4.

Brahms : Variationen und Fuge nach

Handelschen Thema

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 16.

Franck : Prélude, Chorale et Fugue

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 23.

Chopin : Variations brillantes op. 12.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 7.

Debussy : L'Isle joyeuse

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 5.

Chopin : Ballade No. 3. op. 47.

Bach : Wohl-temperiertes Klavier II. Nr. 12.

下川 富子

高谷 倫子

中野 順子

南郷 明子

西 宏子

野間 史子

安井 教子

山口 博子

一六七

昭和三十四年度卒業演奏会

Ravel : Sonatine 2ème et 3ème mouvements

吉田 和代

Bach : Wohl-temperiertes Klavier I. Nr. 15.

若松 喜子

Chopin : Scherzo No. 2. op. 31.

声楽・弦楽の部

昭和三十五年二月十六日 午後三時より本学講堂において

声 楽

中田 喜直 : 女へんげ横一

赤松 克恵 (ソプラノ)

信時 潔 : 逢ひひりの

Respighi : 1. No, non è morto il figlio tuo
2. La mamma è come il pane caldo
3. Io sono la Madre

宇尾野和子 (ソプラノ)

信時 潔 : 張節婦詞 (鶯の卵)

Respighi : Schiuma il tuo fuoco e guizza
(Maria Egiziaca)

門屋 菊子 (ソプラノ)

山田 耕祥 : 信仰と牢獄
Stradella : Pieta Signore

川本 裕子 (アルト)

平井 保喜 : 秘 唱

Smetana : Arie von Marie (Die verkaufte Braut)

箕作 秋吉 : 悲 歌

Verdi : Ritorna vincitor (Aida)

後藤 雪枝 (ソプラノ)

団 伊久磨 : 子供の六つの歌

Strauss : Morgen
Widmung

谷本 道子 (ソプラノ)

山田 耕祥 : 愛と祈り

Puccini : Tu che di gel sei cinta (Turandot)

早田 晴美 (ソプラノ)

山田 耕祥 : 鐘が鳴り出す

Wolf : Verborgenheit

村岡恵子 (メソソップラノ)

平井康三郎 : 九十九里浜

Puccini : Vissi d'arte, vissi d'amore (La Tosca)

棚橋 克子 (ソプラノ)

大木 惇夫 : みぞれに寄する愛の歌

Bizet : Air de Micaela (Carmen)

皆川美弥子 (ソプラノ)

弦 楽

Vieuxtemps : Grand Concert No. 4 1er mouvement

小畑 博子

Beethoven : Violin Konzert D dur

南条 田子